

景況レポート

11月

11月の県内景況は、前月に比べ好転となったものの依然として低調。業種間のばらつきがでている。本格化する年末商戦に期待。

情報連絡員による平成29年11月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は11.2%（前月比+0.6）となっており、「横這い」は38.9%（同-1.5）、「低調」とするところが49.9%（同+0.9）、業界全体の「景況感DI」は-38.9%（同-0.3）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「在庫数量」「取引条件」「設備操業度」「雇用人員」の5項目が前月と比較して好転しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、「快晴」または「晴れ」の業界はなく、繊維製品製造業、木材木製品製造業、鉄工機械製造業、その他の製造業、サービス業、建設業が「曇り」または「薄曇」、その他の業種は「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が、20.4%（前月比+8.1）と増加しております（好転の回答0件、やや好転の回答11件）（製造業5、非製造業6）。一方、変わらないは、57.4%（前月比-0.5）、やや悪化、悪化の見込みは、22.2%（前月比-7.6）と減少しております。

平成29年11月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率91.7%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	☁	☔	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☔	☔
繊維製品製造	☔	☁	☁	☔	☔	☀	☔	☀	☁	☔	☔	☁
木材木製品製造	☔	☔	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
鉄工機械製造	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
その他の製造	☀	☁	☁	☁	☁	☔	☁	☁	☁	☁	☀	☁
卸売業	☁	☁	☔	☔	☁	☔	☁	☔	☁	☔	☁	☔
小売業	☁	☔	☁	☁	☔	☔	☁	☔	☁	☁	☔	☔
商店街	☔	☁	☁	☔	☁	☔	☁	☔	☁	☁	☁	☔
サービス業	☔	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
建設業	☁	☔	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
運輸業	☔	☁	☁	☁	☔	☔	☔	☔	☁	☔	☔	☔

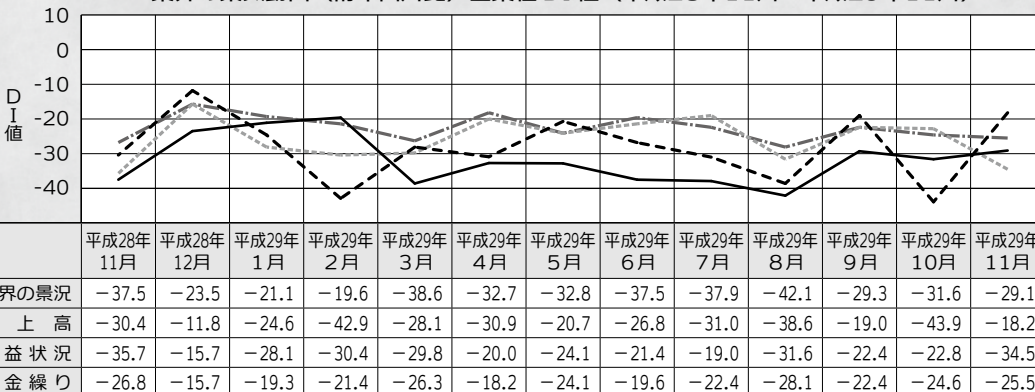
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- ☀ 快晴 30以上
- ☀ はれ 10~30未満
- ☁ うすぐもり -10~10未満
- ☁ くもり -30~-10未満
- ☔ 雨 -50~-30未満
- ☔ 大雨 -50未満

業界の景況動向（前年同月比）全業種DI値（平成28年11月~平成29年11月）



食料品製造業

<漬物>

生野菜が高く、利益が出ない状況にある。

<味噌醤油>

味噌の主原料である加工用米が品不足であると同時に、価格が上昇している。加工米の生産者作付が減少しているとの情報もある。健康食品の甘酒に使用する加工米が増加している現状において、原料の供給が安定化していないのは厳しい。

<菓子>

11月は閑散期である。12月用の材料仕入、職員賞与などにより資金繰りが非常に悪化する。HACCP義務化の問題もあり、資金と時間の負担が一層増していくと考えている。

<酒造>

特定名称酒の伸びが好調である。時期的にこれから出荷ピークを迎える月となった。12、1月が年間出荷数量を左右する月であるので、昨年以上の伸びに期待したい。一方、イベントでの日本酒人気は良い状態だが、なかなか販売数量に結びつかない。この点がこれからの問題となると思う。

<食品団地>

今月は冬の季節商品への対応が例年よりも早く、また、消費拡大に向けたイベントも増えているが浸透しきれていない状態である。今後も原油価格の高騰等、収益に影響が出てくる見通しで難しい状況が続いている。

木材・木製品製造業

<製材業>

原木について、天候の不順からスギ・アカマツ・カラマツの出材が少ない、広葉樹も雨の影響から同傾向にある。製材品について、県内は夏場の見積が受注となり、復興公営住宅に加え一般の住宅も需要は上向いてきた。

<外材輸入>

材料の入荷不足と先高に対して、買い注文が増えるが先行きの不透明感と価格上昇により荷動きが重い状態が続いている。

紙・紙加工品

<紙器・段ボール箱>

段ボール箱業界は、労働時間の短縮、労務環境の整備、物流対策といった多くの課題に直面している。

印 刷

<印刷業>

復興需要もなくなり各社ともこの数ヶ月、売上が前年を下回る状況が続いている。さらには、運送費、原材料の値上げもあり、収益環境が厳しくなってきた。

窯業・土石製品製造業

<砕石>

(県北地区)

1. 当月売上数量	前月比	約5%減
2. " "	昨年同月比	約6%増

3. 本年度売上数量 昨年対比 約10%増

4 現状・現状

東北中央自動車道(相馬福島道)霊山~福島及び西道路大森地区等の公共工事の出荷があったが、他工事等への納入量が伸びなかったため、売上数量は前月より少なかった。

<生コン>

平成29年11月の組合員生コン出荷数量は、172,002m³と対前年同月比+0.3%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比-1.9%、官公需が-1.1%であった。

○民需の動向

対前年同月比 -1.9%

対前年同月比増加地区

県北地区：+3.0% 福島市内病院新築工事、テレビ局新社屋整備事業等

県中地区：+5.5% 旅館ホテル増築工事、マンション新築工事等

白河地区：+4.0% 事務所建設工事等

いわき地区：+29.7% ショッピングモール建設工事、小名浜道路下部工事等

対前年同月比減少地区

相双地区：-21.6% 広野火発石炭貯蔵設備建築工事等

会津地区：-30.5% こども園新築工事、太陽光発電所架台工事等

○官公需の動向

対前年同月比 -1.1%

対前年同月比増加地区

いわき地区：+23.5% 港湾災害復旧、市内病院新築工事等

相双地区：+21.7% 浪江消防署庁舎建設工事、JAEA分析・研究施設1号棟新築工事等

会津地区：+5.6% 砂防施設工事、会津美里町役場新築工事等

対前年同月比減少地区

県北地区：-37.2% 福島市体育館新築工事、斎場建築工事等

県中地区：-48.9% 須賀川市ゴミ処理施設工事等

白河地区：-43.7% 道路橋梁工事等

鉄鋼・金属

<鉄工工業>

(県中地区) 同業者の中でも仕事のある会社とない会社ははっきり分かれている様子。

一般機器

<各種プラント機器>

売上高が前月比で32%増、前年同月比に於いては2倍強の増加と大きな伸びを示した。累計でも前年比において前月比7%増の、89%と回復の兆しが見えてきた。この状態が続くことを期待したい。

その他の製造業

<漆器>

月初めの連休はまずまずの出足だったが、その後は大きく悪化した。

卸 売 業

<再生資源>

古紙価格は依然低調のまま推移、輸出価格が上昇傾向にあったが、円高基調で先行きは不透明である。

<米麦事業>

当組合の販売品目は米穀のみなので、平成29年秋に収穫した米穀を主に秋から翌年の初夏にかけて販売している。このため、夏から秋の米穀の収穫時期までは販売数量が激減する。なお、米穀の販売単価は昨年より上り、売上高は増えた。

小 売 業

<共同店舗>

(Oショッピングセンター)

今月は、飲食関係が好調であった。物販は昨年比、前月比とも実績が下降傾向であった。次月は、歳末商戦に入るが、車で30分の距離に競合が出店し少なからず影響があると想定される。

(Nショッピングセンター)

全体的に客の購買力が弱い。

<石油>

元売各社の仕切価格が大幅に上昇。これにより、県内の燃料小売価格も上昇し、特に灯油価格については、店頭価格が1ℓあたり80円以上となっている。

<水産物>

思っていたより物が動かない静かな月であった。気温も寒くなり、鍋物商材に力点を置いていきたい。

<青果>

先月から続く会津身不知柿の取引は、昨年比に比べ価格は落ち着いていたが取引が思うように伸びなかった。後半にかけて葉物の単価が高騰し始めている。来月のクリスマスや年末にかけて野菜・果物の単価が高騰する中においても、少しでも取扱が増加することに期待したい。

<家電>

家電メーカーでは、石油関連製品の製造中止が大きな影響を及ぼしている。

商 店 街

<福島市>

冬になるにつれて気温が下がり、街中の人通りも少なくなっている。今月は福島競馬の開催もあったが、来街者は増えなかった。昨年と比べても少ないと感じる。また、10月の稲荷神社祭りには多くの来街者があったが、各店への客入り、収入には結びつかなかった。10月後半から11月上旬にかけては、台風や衆議院選、また、市長選の影響か、全く活気を感じられない状況であった。

<郡山市>

11月上旬には、商店街最大のイベントのひとつ「ウィンターフェスティバル2017」が開催され、大いに賑わった。さらに、百貨店の催事「全国駅弁」も好評であった。12月の歳末商戦もこの流れでいってほしいと思う。

<南相馬市>

市商連主催の年末大売出しが10日より開始。今年、秋保温泉への招待企画となっている。栄町もナイトばざーの他、「福笑いスタンプラリー」を同時開

催してダブルで顧客サービスに努めている。

<会津若松市>

全体としては低調であったが、良い話題として、空き店舗に飲食店の出店が決まったことと、休業していた店が再開したことがあげられる。アーケード完成に合わせて空き店舗ゼロを期待したい。

<いわき市>

10月とは違って安定した天候が続いた11月。例年より寒くなったことで、コート類の重衣料など「冬物」の動きが早い様子。しかし、前年同様に後半に失速し、前年並みの結果と思われる。11月後半から12月の前半に街中に来ていただけるような企画を考えていきたい。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

11月前半の出だしは好調で紅葉観光が増えた。しかし、中盤以降は寒気と初雪がスカイラインの冬季閉鎖を早めるなどして観光に水を差した感じの月になってしまった。今年も秋の観光シーズンになると天候が芳しくなく収益が落ちている。ここ数年の異常気象が当たり前の気象になりつつあることを踏まえ、ハード・ソフト両面での対応策を考えていかなければならない。雨が降っても、雪が降ってもお客様を呼べる仕組みづくりが必要である。

<理容業>

思っていたより景況はよくならなかった。特に月末に急に寒くなった影響で客足が鈍った。会津方面は、積雪などにより、客足が減り売上に影響を及ぼした。一方、いわき方面は例年通りとのことであった。12月は1年の中で一番忙しい月なので期待しているが、消費低迷が回復しない限り急に良くなることはないため、現状をしっかりと見つけ消費者に喜ばれるようなメニューを提案していきたい。

<一般廃棄物収集運搬>

通常業務については前月同様の売り上げを見込んでいる。産業廃棄物に関しては依然として排出量は震災前の水準には届かず、しばらくは増加することはないと思われる。また、東工業団地に置いて 関東大手の産廃処理業者が進出してきた。今後、総合的エコ事業を展開するよう。地元事業者との連携も模索している様で今後の展開が期待できる。雇用については組合員各社でも人材の確保について苦慮している。最近の傾向と思うが、従業員の定着率が低くなっている傾向がある。対策を検討したい。

建 設 業

<建設業>

(県南地区)

土木工事は、ようやく道路、下水工事など増加傾向にある。建築工事は公共の小規模物件が増加しているが、民間建築は低調したままである。一部の町村で除染土の仮置場の維持管理、補修工事などが発注されている。

<管工事>

前月比では給水設備申請が減少し、排水設備申請が増加している。前年同月累計対比では、給水・排水設備申請とも減少している。

<トラック団地>

燃料価格の上昇が続いており、今後収益への影響が

懸念される。

<ハイヤータクシー>

人の動きが悪かった。

県政トピックス

2017.11

移動販売などの買い物支援や商店街等でのイベント開催を応援します。

アサヒグループ商業コミュニティ助成事業 平成30年度事業募集

募集期間 平成29年12月11日(月)～平成30年1月25日(木)

アサヒグループホールディングス株式会社と福島県では、東日本大震災により商業機能が喪失した地域や震災後の住民避難等により高齢化が加速している地域において、日常の買い物を通して地域住民のコミュニティを構築する事業に対し、震災後の地域コミュニティの維持・再生と復興まちづくりを推進することを目的とした助成を行っています。

事業実施者 《主催》アサヒグループホールディングス株式会社 《共催》福島県

助成対象事業・事業区分

【I事業】
地域住民の買い物支援を通じてコミュニティを維持、再生する事業
※ 移動販売、送迎サービス、買物代行などの買物支援のための事業
(助成額上限300万円)

【II事業】
地域コミュニティの維持、再生、活性化のために商店街等において行う事業
※ 避難者との交流イベントの開催などのソフト事業
(助成額上限 50万円)

助成対象団体 商工団体、民間企業、特定非営利活動法人など

助成対象期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日までに実施する事業

助成事業の詳細につきましては、福島県商業まちづくり課のホームページを御覧いただくか、下記のお問い合わせ先まで御連絡ください。

お問い合わせ先 福島県商業まちづくり課
電 話：024-521-7299
FAX：024-521-8886

